



# コメディカルのための疾患の知識

この番組では、臨床のドクターがコメディカルスタッフやヘルスケア産業に従事する方々に知っておいてほしい循環器 / 呼吸器疾患の知識について、そのエッセンスを映像化し、解説しています。



**DVD** ■ **循環器編 第2版** **NEW**

■各巻価格 **¥28,000** (本体価) + 税 ©2012 ~ 2016

■VOL.1 ~ 10巻セット価格 **¥280,000** (本体価) + 税

■総監修: **相澤 忠範** 心臓血管研究所 名誉所長

■制作著作: **株式会社 メディカルビジョン**

## VOL.1 虚血性心疾患 総論 18分

■監修: **矢嶋 純二** 心臓血管研究所附属病院 副院長 / 循環器内科 部長  
**及川 裕二** 心臓血管研究所附属病院 循環器内科 冠動脈疾患担当部長

■虚血性心疾患を理解していただくために、前半では心臓の構造と働き、刺激伝導系と心電図を、後半は冠動脈と虚血性心疾患、冠動脈造影などの虚血性心疾患の検査、動脈硬化が起こるメカニズムや動脈硬化の危険因子をCGアニメーションと実写、ミクロ像を組み合わせて分かりやすく解説します。■心臓の構造と働き、刺激伝導系と心電図、虚血性心疾患の心電図変化、冠動脈と虚血性心疾患、冠動脈造影(CAG)、冠動脈CT検査、MRI検査、動脈と動脈硬化、動脈硬化のメカニズム、動脈硬化の危険因子

## VOL.2 狭心症 26分

■監修: **矢嶋 純二** 心臓血管研究所附属病院 副院長 / 循環器内科 部長  
**及川 裕二** 心臓血管研究所附属病院 循環器内科 冠動脈疾患担当部長

■狭心症を理解していただくために、前半では狭心症の分類、狭心症の治療目標、経皮的冠動脈インターベンションなどについて概説し、後半はモデル患者さんを通して、狭心症の検査・診断と狭心症治療の実際の流れを解説します。■狭心症の分類(狭窄のメカニズム、発現様式、経過からの分類)、狭心症の治療目標、狭心症の治療方針、狭心症の治療(薬物療法、冠血行再建術)、バルーン血管形成術、ステント(ベアメタルステントと薬剤溶出性ステント)、ロータブレード、DCA、狭心症の検査・診断(狭心症の症状、心電図、胸部X線検査、血液生化学検査、心エコー検査、運動負荷心電図、心臓核医学検査、冠動脈CT検査、冠動脈造影、冠動脈造影の合併症)、狭心症治療の実際(経皮的冠動脈インターベンション、冠動脈バイパス術、薬物療法、患者教育)

## VOL.3 心筋梗塞 21分

■監修: **矢嶋 純二** 心臓血管研究所附属病院 副院長 / 循環器内科 部長  
**及川 裕二** 心臓血管研究所附属病院 循環器内科 冠動脈疾患担当部長

■心筋梗塞を理解していただくために、前半ではモデル患者さんを通して心筋梗塞の症状、急性心筋梗塞の初期診断、心筋梗塞の分類を、後半は急性心不全を伴う心筋梗塞の初期治療からCCUより一般病棟へ帰るまでのケア、心筋梗塞の薬物療法、退院に向けた生活指導について解説します。■心筋梗塞の症状、急性心筋梗塞の初期診断(12誘導心電図、胸部X線検査、血液生化学検査、心エコー検査)、心筋梗塞の分類(ST上昇型心筋梗塞、非ST上昇型心筋梗塞)、真性心筋梗塞(Q波梗塞)と非真性心筋梗塞(非Q波梗塞)、聴診、Killip分類、心筋障害マーカー、急性心筋梗塞の合併症、急性心筋梗塞の初期治療(酸素療法、聴診、Killip分類、心筋障害マーカー、急性心筋梗塞の合併症、急性心筋梗塞の初期治療(酸素療法、聴診、Killip分類、心筋障害マーカー、急性心筋梗塞の合併症)、大動脈バルーンパンピング(IABP)、経皮的肺補助装置(PCPS)、経皮的冠動脈インターベンション(PCI)、スワン・ガンツカテーテル、Forrester分類による治療方針、心臓核医学検査、一般病棟帰室後のケア、心筋梗塞の薬物療法、生活指導)

## VOL.4 不整脈 総論 28分

■監修: **大塚 崇之** 心臓血管研究所附属病院 循環器内科 医長

■不整脈を理解していただくために、前半では刺激伝導系と不整脈、不整脈の分類と症状、不整脈の検査を、後半は不整脈の薬物療法、不整脈の非薬物療法をCGアニメーションと実写を組み合わせて、分かりやすく解説します。■刺激伝導系と心電図、頻脈性不整脈と徐脈性不整脈、不整脈の臨床症状、心電図検査、胸部X線撮影、血液生化学検査、心エコー検査、ホルター心電図、携帯型心電計、加算平均心電図、運動負荷心電図、心臓電気生理学検査(EPS)、心筋細胞の活動電位とイオンの動き、絶対不応期と相対不応期、Sicilian Gambitの分類、ペースメーカー治療、電気ショック(カウンターショック)、植込み型除細動器: ICD、AED、カテーテルアブレーション

## VOL.5 不整脈 各論 46分

■監修: **大塚 崇之** 心臓血管研究所附属病院 循環器内科 医長

■頻脈性不整脈と徐脈性不整脈を理解していただくために、前半では頻脈性不整脈の病態生理、徐脈性不整脈の病態生理について概説し、後半はモデル患者さんを通して、頻脈性不整脈の治療と徐脈性不整脈の治療について解説します。■期外収縮、発作性上室頻拍(PSVT)、Adams-Stokes発作、房室結節リントリー頻拍、WPW症候群、pseudo VT: 偽性心室頻拍、心房細動(AF)、心房粗動(AFL)、心室頻拍(VT)、torsade de pointes、QT延長症候群(LQTS)、心室細動(VF)、洞不全症候群(SSS)、洞徐脈、洞停止洞房ブロック、徐脈頻脈症候群、補充収縮、房室ブロック、発作性上室頻拍(PSVT)の治療、迷走神経刺激法(Valsalva法、頸動脈圧迫法)、心房細動(AF)の診断と治療の流れ(心電図検査、胸部X線検査、電気ショック、薬物治療、心房細動のカテーテルアブレーション)、心室頻拍(VT)の診断と治療の流れ(心電図モニター、除細動、植込み型除細動器: ICDによる治療)、洞不全症候群(SSS)の治療(植込み型ペースメーカー)、ペースメーカー植込みの実際

## VOL.6 心臓弁膜症 NEW 33分

■監修: **上嶋 徳久** 心臓血管研究所附属病院 循環器内科 心不全担当部長

■心臓弁膜症を理解していただくために、前半では心臓の弁の解剖、心臓弁膜症の病態、心臓弁膜症の合併症について、各論では僧帽弁狭窄症(MS)、僧帽弁閉鎖不全症(MR)、大動脈弁狭窄症(AS)、大動脈弁閉鎖不全症(AR)それぞれの症状と病態、診断と治療、患者指導について、CGアニメーションと実写、臨床画像を組み合わせて、分かりやすく解説します。■心臓の弁の解剖、心臓弁膜症の病態、心臓弁膜症の合併症、僧帽弁狭窄症(MS)の病態、MSの原因、MSの症状、MSの検査・診断(聴診、胸部X線検査、心電図検査、心エコー検査、経食道心エコー検査)、MSの治療(MSの薬物療法、MSの手術療法、人工弁の種類)、MSの患者指導、僧帽弁閉鎖不全症(MR)の病態、MRの原因、MRの症状、MRの検査・診断(聴診、胸部X線検査、心電図検査、心エコー検査、心臓カテーテル検査、セラーズ分類)MRの治療(薬物療法、手術療法)、MRの患者指導、大動脈弁狭窄症(AS)の病態、ASの原因、ASの症状、ASの検査・診断(聴診、胸部X線検査、心電図検査、心エコー検査、心臓カテーテル検査)、ASの治療(大動脈弁人工弁置換術、経カテーテル大動脈弁留置術: TAVI、TAVIの適応)、ASの生活指導、大動脈弁閉鎖不全症(AR)の病態、ARの原因、ARの症状、ARの検査・診断(聴診、胸部X線検査、心エコー検査、心臓カテーテル検査、ARのセラーズ分類)、ARの治療(薬物療法、大動脈弁人工弁置換術の適応)、ARの生活指導

## VOL.7 心筋疾患 NEW 25分

■監修: **上嶋 徳久** 心臓血管研究所附属病院 循環器内科 心不全担当部長

■心筋疾患を理解していただくために、前半では心筋症の定義と分類について、WHO/ISFC合同委員会の定義と分類、アメリカ心臓協会の分類、欧州心臓病学会(ESC)の分類と代表的な心筋症である拡張型心筋症(DCM)、肥大型心筋症(HCM)、拘束型心筋症(RCM)の概要を解説し、後半では拡張型心筋症(DCM)の病態、合併症、症状、検査・診断、治療、患者指導、肥大型心筋症(HCM)の病態、種類、症状、検査・診断、治療、患者指導について、CGアニメーションと実写、臨床画像を組み合わせて、分かりやすく解説します。■心筋症の定義と分類(WHO/ISFC合同委員会の定義と分類、アメリカ心臓協会の分類、欧州心臓病学会の分類)、代表的な心筋症(拡張型心筋症、肥大型心筋症、拘束型心筋症)拡張型心筋症(DCM)の病態、DCMの合併症、DCMの症状、DCMの検査・診断(聴診、心エコー検査、心臓カテーテル検査、血液生化学検査)、DCMの治療(急性期治療と慢性期治療、運動療法、DCMの薬物療法、植込み型除細動器、心臓同期療法、両室ペースメーカー付き植込み型除細動器、補助人工心臓)、DCMの患者教育 ■肥大型心筋症(HCM)の病態、HCMの種類、HCMの症状、HCMの検査・診断(聴診、聴診、心エコー検査)、HCMの治療(薬物療法、カテーテルアブレーション、植込み型除細動器、心筋切除術、経皮的中等心筋焼灼術)、HCMの生活指導

## VOL.8 動脈疾患(大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症) NEW 29分

■監修: **高井 秀明** 心臓血管研究所附属病院 心臓血管外科 医長

■動脈疾患を理解していただくために大動脈瘤(胸部大動脈瘤・腹部大動脈瘤)の病態、分類、症状、診断と治療、大動脈解離の病態や病型分類、症状、検査・診断、治療、閉塞性動脈硬化症(PAD)の病態、原因と症状、検査・診断、治療について、CGアニメーションと実写、臨床画像を組み合わせて、分かりやすく解説します。■大動脈瘤(胸部大動脈瘤・腹部大動脈瘤)の病態、大動脈瘤の部位による分類、病理学的分類、原因、症状、診断、内科的・外科的治療、大血管疾患の術後合併症、ステントグラフト治療、大動脈解離の病態、原因、病型分類、症状、検査・診断、内科的・外科的治療、閉塞性動脈硬化症(PAD)の病態、検査・診断、大動脈解離の手術適応、緊急TEVAR、閉塞性動脈硬化症(PAD)の病態、原因、症状、検査・診断、PADの治療、運動療法、薬物療法(抗血小板薬、血管拡張薬、β遮断薬、糖尿病薬)、禁煙

## VOL.9 心不全(慢性心不全を中心に) NEW 26分

■監修: **仙波 宏章** 心臓血管研究所附属病院 循環器内科 副医長

■心不全を理解していただくために、前半では心不全とは何か、心不全に対する身体の代償反応、心不全の分類、心不全の重症度の評価について解説し、後半では慢性心不全の活動能力の評価、慢性心不全の診断と治療、慢性心不全の管理について、CGアニメーションと実写、臨床画像を組み合わせて、分かりやすく解説します。■心不全とは、心不全に対する代償反応(大循環と肺循環、前負荷、後負荷、心収縮能・拡張能、心拍数)、心不全に対する代償反応、心不全の分類(急性心不全、慢性心不全、左心不全、右心不全、両心不全)、心不全の重症度の評価(NYHA分類、Killip分類、Forrester分類)、慢性心不全の活動能力の評価(活動能力の評価法、身体活動能力質問表、運動能力の評価法、6分歩行試験)、慢性心不全の診断と治療(聴診、心電図検査、胸部X線、心不全ステージ別にみた薬物治療、服薬指導)、慢性心不全の管理(患者指導)

## VOL.10 心臓リハビリテーション NEW 32分

■監修: **加藤 祐子** 心臓血管研究所附属病院 循環器内科 医長 心臓リハビリテーション科 医長

■心臓リハビリテーションを理解していただくために、心臓リハビリテーションの概要、慢性心不全患者のアセスメント(運動能力の評価)、運動療法(有酸素運動)、運動療法(レジスタンストレーニング)、心肺運動負荷試験(CPX)、在宅リハビリテーションの指導などについて、分かりやすく解説します。■心臓リハビリテーションの概要、心臓リハビリテーションの効果、慢性心不全患者のアセスメント(運動能力の評価)、200M歩行負荷試験、NYHA重症度分類による評価、身体活動能力質問表(SAS: Specific Activity Scale)による評価、慢性心不全患者における運動療法の禁忌、運動療法(有酸素運動)、準備運動、強度の軽い有酸素運動、クールダウン、運動療法(レジスタンストレーニング)、レジスタンストレーニングの効果、レジスタンストレーニングの禁忌、心肺運動負荷試験(CPX)、ATレベルを超える運動による影響、在宅リハビリテーションの指導